

令和3年度 第1回 上市町総合教育会議 会議記録

日 時 令和3年8月23日(月)
9時00分～10時20分
場 所 上市町役場4階 大ホール

1 開会

2 町長あいさつ

今年度最初の総合教育会議ということで、今回は小学校のあり方アンケートの集計結果と教職員の負担軽減について意見交換をさせていただければと思う。

3 議事

- ・ 小学校のあり方アンケートの集計結果について

[事務局一添付資料の説明]

(アンケート回答率) 小学校82.3%、保育所(園)75.0%、

(町長)

義務教育学校について、別記にいくつかの意見があった。統合としてのものなのか、現行の学校としてのものなのかは定かではないが、全国で義務教育学校が100校あまりと増えてきている状況にある中で、義務教育学校についてしっかりと広報していく必要があると思う。

「現時点であなたの考えに一番近いと思われるものは」との質問に対し、南加積と宮川で「今の学校を維持してほしい」との回答が他に比べ多くあった。

(委員)

3月のタウンミーティング、その時に示された資料から、ある程度アンケートの結果は予想をしていた。例えば「望ましいと思う1学級の児童数」などは、やはり望ましい理想の人数がある。資料のとおり、こちらからの提案のとおりのお返事であったと思われる。義務教育学校についても専門的な方でも分からない。上市に義務教育学校を設置するとしたならば、条件としてどうなのか、南砺市のように地区ごとに小中1校程度というものとは実態も違う。半分以上の方は分からない中での回答という気がする。

(委員)

上市で義務教育学校となれば、どういう形のものになるのか。具体性が見えた方が意見をもっと聴けるのではないかと感じた。

(町長)

南砺市では義務教育学校という流れになってきている。上市は中学校1校、小学校6校という形の中で、小学校をどういう形にするのか、町で1校なのか2校なのかそれとも現行のままとするのか。先に小学校の形を決めてからでないと、検討するには少々無理があるのではないかと感じる。

6月議会で上市中央小の建て替えという話題があがった。この答えを出すにも、上市中央小単独なのか、他も併せてなのかによって校舎の規模が全く違うということがあり、時間を掛けて議論すべきものと思っている。小学校のあり方がどうなっていくか、このことを整理した上で義務教育学校については協議していく必要があると考えている。

(委員)

望ましいと思う1学年の学級数について、自分の子どもたちが上市中央小に通っているので、つい先入観で2学級以上が良いと思っていた。しかし、現に1学級の学校に通う児童の保護者の意見として、1学級が望ましいと思っている方がとても多いことに驚いた。1学級でも十分に満足されている方が多いのではないかと思う。もし現状のままで小学校を残すとなれば、1学級の可能性が大きい。1学級であっても児童が安心して通える学校づくりをしていかなければならないと思う。

また、「現時点であなたの考えに一番近いと思われるものは」との質問に対し、「今の学校を維持してほしい、できる限り維持してほしいが、仕方がない」、「仕方がない」というのは、「本当は維持してほしい」だと思うが、この二つの答えを合わせると90%近くとなる。このような意見を踏まえて進めていくのであれば、進めていくための努力をしていかなければならないと感じた。

(委員)

現状を把握するにはアンケートは大切なことだと思うが、どうしてもアンケートを取るときに心理的なものに左右され、設問自体により統合に向かっていくと捉えている方がとても多いのではないかと思った。

アンケート別記に「学校がなくなれば、その校下には若い人はたぶん住まないと思います」とあるように、特に白萩西部や陽南の方にはこの町をどうしていくのかという切実な思いがあると感じた。他の学校の保護者は「可能性はあるよね」というぐらいでアンケートに回答をしているのではないか。置かれている環境によって意見が違っている。

小学校だけの問題ではなく、学校がなくなれば当然その場所に若い人は住まなくなり、高齢者のみとなる。そうすると町の人口は更に減っていく、店舗も病院もなくなり、更に住みにくくなる。現在、家の新築が動いていない。この裏には、出会いがない、結婚できない、家を建てる人が減っていく、そして子どもが生まれないと、コロナの何が一番怖いのか、数年後にボディーブローのように効いてくる。大変だからこそ、力を合わせて色々な意見を出さなければいけない。学校だけの問題ではないことを共有していかなければならない。

(町長)

確かに出会いがなくなっているという状況を感じている。町でも仕掛けはしているが、なかなか乗ってきてもらえないという現実がある。これは上市だけの問題ではなく、全体的にそういう傾向にあるという思いを持っている。引き続き仕掛けをし、成果に繋げていきたい。

出生と死亡の差が1か月で20名、年間で240名の人口減少となる。なんとかこのギャップを埋めていきたい。

(委員)

教育委員会だけではなく町全体で取り組むべき内容かと思う。

今のまま子どもの減少が続くのであれば、誰がどう考えても何年後には統廃合をせざるを得ないのかと、町民の大半の方が思っているかもしれない。何年後か、それまでは現状維持でいいのかどうか。例えば今まで複式を解消するために臨任講師を確保してきたが、教員が不足する中でその確保は難しいというのであれば、複式に挑戦してみてもどうか。

県内では過去40年間で小中学校96校が減っている。これはひとつの流れではあるが、だからと言って町がこの流れに乗っかっていくかという、それぞれの地域の実態は違う。

小規模校の事例は沢山あり、少人数を活かす学習指導をしている。このような積み重ねがあり、必ずしも複式学級はマイナス面だけではないと私は思う。確かに切磋琢磨は出来ないかもしれないが、統廃合までの間、挑戦をしてみる。教師の力量を上げるチャンスだと思う。

(町長)

今ほどの提案について、教育委員会で検討してもらいたい。

(委員)

安心・安全ということから言えば、校舎、ハード面でも同じであろう。古くなった校舎を新しくということもあるが、白萩西部や陽南はハザードマップ的にももったいないのではないかと。複式という意見もあったが、この2校を使わないという手はない。他からこの2校へ通うような体制、2校をもっと活用するという提案をされている議員もいる。

人口減少の中、新しい方向に将来も持続可能なものと考えていかなければならない。本当に学校のことだけではないと思う。一度頭の中を真っさらにして考えてみることで、意見を聴いてみることで、今後の上市の課題になること、またはヒントになることがあるのではないかと思う。

(町長)

白萩西部、陽南は町内のどこからでも通学ができる特任校となっている。現在もその制度を利用されている方もいる状況の中で、何か魅力を持たせながら、どの程度利用されるかは分からないが、引き続き応援できるようにしていきたい。

(委員)

アンケートを取って意見を取り入れて良い方向へ進めたいということは分かるが、現実的に無理なことをやろうとしてもできないのであれば、長期的な展望の中で、学校をこういうふうにしていき、学校の周りの住宅などをどのようにしていくのか、将来のまちづくりの展望を考え、人口をこういうふうを増やしていく、こういった住みやすい町にしていく、学校がなくなる地域については、違う形のメリットを、何かアイデアを出していく、上市町として特色のあることをやっていいのではないかと。すべてを良くすることはなかなか出来ないのであれば、違う形の展望で新しい上市のスタートをきれるようなアイデアを出し合い、やっていくのも一つではないかと思う。

アンケートを取ったとしても、全員の意見を集約し良い方向に進めるのは無理だと思う。その中で決断しながらどうしていくのか。新しいことをやると批判も出ると思うが、そうしていかなければ、あれもこれもというのは出来ない時代だと思う。

- ・ 教職員の負担軽減（部活動の地域への移行）について

[事務局一添付資料の説明]

(町長)

部活動の地域移行については、文部科学省もこの流れを創ろうとしている。地域への移行にあたっての指導者への謝礼など、国が予算的にどのような手当てをしてもらえるのか、現段階では未定である。地域の受け皿としては、スポーツ少年団もあるような競技、例えば当町では武道（柔道、剣道、空手）については、比較的に移行し易いのではないかと推測している。

上市中学校教員の時間外勤務が年間700時間を超えており、部活動のウエイトが高いということから提案をさせていただいた。みなさんのご意見をいただければと思う。

(委員)

富山市の中学校でもサッカーはクラブチームがあることから、人数が集まらず、すでに部活動としては成り立たなくなっていると聞いている。時代の流れとして地域への移行はしょうがないことであり、教員のなり手が少なくなっている中で負担を減らすことは大事なことと思う。

ただし、地域の指導者は教員が行う生徒指導面では素人であり、勝ちへのこだわりや体罰ということも懸念されることから、定期的な研修の実施や生徒とのコミュニケーションに十分気を付ける必要がある。

(委員)

学習指導要領には、学校運営上の留意事項として「生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、云々」と記されており、教育課程の中では大事な位置づけがされている。生徒指導面で生徒の実態を知ることからはマイナス面もあるが、地域への移行は現場の教職員としてはとてもありがたいものと思う。

保護者や生徒を対象にしたアンケート調査で現状を伝え、色々な意見を捉え、生徒、保護者の気持ちを大事にしていくことが必要だと思う。

(町長)

今から令和5年度に向けて、地域移行のための要件を保護者のみなさんにしっかりと広報していただきたい。部活動の顧問はその競技などの経験者とは限らず、その責任を持たせるのは酷な話である。教職員の負担軽減にとって避けては通れない道であり、しっかりと道筋をつけていただきたいと思う。

4 閉会